



日本骨髄バンクの現状（2018年5月末現在）

	4月	5月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,822	2,642	485,810	736,503
患者登録者数	220	232	3,813	53,820
移植例数	97	101	—	21,986

■5月年代別ドナー登録者数（現在数）

10代	4,544人
20代	72,373人
30代	137,064人
40代	208,553人
50代	63,276人

■5月の20歳未満の登録者 469人

■5月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／822人、献血併行型集団登録会／1,765人、集団登録会／9人、その他／46人

■5月末までの末梢血幹細胞移植（PBSCT）累計数：488件

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 「骨髄バンクスペシャルサイト」（旧ドナーズネット）6月オープン

骨髄バンクのコミュニティサイト「ドナーズネット」がリニューアルし、6月から「骨髄バンクスペシャルサイト」に生まれ変わりました。

若い世代の方々に骨髄バンクをよりいっそう身近に感じていただくための新しいWEBサイトです。骨髄バンクを全く知らない方にもわかりやすいよう、ドナー登録のしかたや提供方法などについて、アニメなどで楽しく紹介しています。また、よく使われている骨髄バンクデータ集をグラフィック形式にするなど、利用しやすい工夫を随所に盛り込んでいます。ぜひご覧ください。



◆骨髄バンクスペシャルサイト

<http://www.jmdp-donor-special.jp>

2 ACジャパン支援キャンペーン7月から新CMスタート【予告】

ACジャパンによる骨髄バンク支援キャンペーンの新CMが7月1日（日）から公開されます。

今回出演いただくのはタレントの中川翔子さん。若くして白血病で他界されたお父様の年齢を迎え、骨髄バンクのCM出演となりました。キャッチコピーは「生きたいと願う人がいる」。

ブログでも人気のある中川さんを通じて、若い世代への情報発信の加速が期待されます。

3 日本骨髄バンクニュース第52号、7月4日発行【予告】

日本骨髄バンクニュース第52号を7月4日（水）に発行します。今年のAC支援キャンペーンを務める中川翔子さんが巻頭ページを飾ります。詳細は次号でご案内します。

なお、バンクニュースは2016年と2017年の2年間、ドナー登録者の方への郵送でのお届けは年1回（12月のみ）としていましたが、本年より年2回（7月と12月）となります。



4 ドナー助成制度、新たに26の自治体で導入

「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が、新たに全国26市町で導入されました。全国で396市区町村となります。また、神奈川県では、県内市区町村がドナー助成制度を導入した場合、その費用の半分を県が補助する制度がスタートしました。全国で16都府県になります。今後、神奈川県内での市区町村の導入増加が見込まれます。

助成内容は各自治体によって異なりますので、直接お問い合わせください。ホームページに問い合わせ一覧を掲載しています。

*HOME>ドナー登録されている方へ>骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ
>提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体

■新たに導入した自治体

- 石巻市（宮城県） ○ひたちなか市（茨城県） ○市貝町、壬生町、真岡市、矢板市（以上栃木県）
- 愛川町、鎌倉市、大和市、松田町（以上神奈川県） ○甲府市（山梨県）
- 十日町、長岡市、妙高市（以上新潟県） ○富士市（静岡県）
- 池田町、恵那市、大野町、北方町、岐南町、関市、中津川市、山県市（以上岐阜県）
- 堺市（大阪府） ○宇多津町（香川県） ○松山市（愛媛県）

5 コーディネーター募集のお知らせ

コーディネーター養成研修を今年度、下記の地域において行います。社会貢献の機会として活動していただける方を募集します。皆さまの周りにコーディネーターの活動に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ応募のお声掛けをお願いします。「募集要項」はホームページをご覧ください。

*HOME > お知らせ > 平成30年度コーディネーター養成研修会受講者募集のお知らせ

■募集概要

①募集地域（以下の地域で活動できる方）

東北地区：秋田、福島、宮城、山形

中部地区：愛知、静岡、福井、三重

中四国地区：香川、山口

九州地区：沖縄、鹿児島、熊本、福岡、宮崎

②募集人数：各地域とも若干名

③研修期間：2018年10月～2019年3月

④応募資格

*原則25歳以上の健康な方で、骨髄バンク事業を理解しコーディネート業務に時間と労力を割くことできる方。ただし、骨髄・末梢血幹細胞移植適応患者やその家族、または特定の患者の支援活動をしている方は除きます。

⑤応募締切：2018年8月31日（金）必着

*書類選考と電話面接を経て受講者を決定します。



6 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設認定について

下記の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設として認定されました。

○大阪大学医学部附属病院

これにより末梢血幹細胞採取認定施設数は109施設となりました。新規認定施設はホームページでもご覧いただけます。

*HOME>患者さんへ>移植認定病院 または ドナー登録されている方へ>面談施設一覧

7 当法人の会議等開催予定

傍聴ご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
通常評議員会	公開・一部非公開	6月21日（木）16時～17時半 廣瀬第2ビル地下会議室
臨時理事会	公開・一部非公開	6月21日（木）17時半～18時 廣瀬第2ビル地下会議室
ドナー安全委員会	非公開	7月22日（日）12時半～16時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

8 診療報酬点数改定に伴う合意書締結のお願い【再掲】

非血縁者間移植の診療報酬点数が2018年4月1日より1万点増加されました。これに伴い当法人と各施設との間で支払いに関する合意を新たに締結しています。3月末に合意書をお送りしました。未返送の一部施設におかれましては、早急に下記までお送りいただきますようお願いいたします。

<問い合わせ先> 日本骨髄バンク 総務部 診療報酬担当 市山・上原
TEL 03-5280-8111

9 造血幹細胞の凍結申請事例報告について

これまで、23例の造血幹細胞の凍結申請に関して報告しましたが、昨年4月から本年3月までの1年間で、新たに7例の凍結申請がありました。詳細はホームページをご参照ください。

*HOME>医師の方へ>医師宛て通知文【患者主治医向け】>造血幹細胞の凍結申請 事例報告

10 2018年全国調査 本登録データ提出のお願い <移植施設の方へ>

「2018年全国調査 本登録データ提出のお願い」が6月8日（金）に日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）／日本造血細胞移植学会（JSHCT）から発出されました。提出期限は9月28日（金）必着となっていますので、ご対応のほどよろしく申し上げます。

詳細はJDCHCTホームページをご確認ください。

<http://www.jdchct.or.jp/>

11 「ドナーのためのハンドブック」（第4版第2刷）の資料変更について <コーディネーターの方へ>

「ドナーのためのハンドブック」の「第6章 資料編 I. 骨髄提供」において、p.66「10. 骨髄バンク団体傷害保険の骨髄採取年別適用数」の「2:後遺障害保険」と p.64「9 後遺障害保険適用事例」の集計期間に差異がありました。そのため2016年3月末から2017年3月末までの内容に更新します。

これに伴い p.57～60 に掲載の「5 入院中に使用された薬について」、「6 採取翌日の症状・検査結果」、「7 1. 骨髄採取、麻酔に伴う合併症について」、「7 2. 骨髄採取、麻酔に伴う合併症について」の集計期間も2016年3月末から2017年3月末までの内容に更新しました。

詳細は別紙をご確認ください。

12 緊急時ポケットマニュアルの発行 <コーディネーターの方へ>

コーディネートの初動体制をまとめたポケットマニュアルを作成しました。昨年10月15日付で発行の「造血幹細胞採取に係る緊急事態対応ガイドライン」（自然災害等によりコーディネートに関連する緊急事態がおきたとき [P.20]）に基づき、緊急事態発生時の対応が迅速に行なえるようにしました。

■使用方法

- ①ポケットマニュアルの内容を確認し、速やかに緊急連絡網（連絡先）に必要事項を記入してください。
- ②常時携帯し、緊急事態発生時には、自身の安全確保に努め、安全が確保され次第、ポケットマニュアルに則りご対応をお願いします。